YAKUGAKU ZASSHI 投稿規定

（施行2023年1月1日）

YAKUGAKU ZASSHIは，1881年創刊の長い歴史を持つ学術誌であり，15,000人を超える会員を有する公益社団法人日本薬学会によって刊行されています．YAKUGAKU ZASSHIの掲載内容は，J-STAGEプラットフォームを介してオンライン公開（フリーアクセス）しています．記載は和文を原則としますが，臨床薬学，薬剤師業務や薬学教育に関する研究では英文による投稿も可能です（詳しくは論文種別の項を参照）．日本薬学会の会員以外からの投稿も歓迎します．

目次

目的＆スコープ …… 1
投稿方法 …… 1
論文種別 …… 1
原稿様式 …… 2
サイエンスポリシー …… 4
編集方針 …… 5
論文公開 …… 8
審査終了（採択）後のプロセス …… 9
問い合わせ先 …… 9

目的＆スコープ

YAKUGAKU ZASSHIは，薬学及び生命科学領域における重要かつ新規性の高い科学的知見を掲載する査読付き学術誌です．また，基礎研究から応用・臨床研究までを広く対象とします．論文種別には，原著論文（一般論文，ノート，ケースレポート）及び総説（一般総説，依頼総説）があります．

本誌は，薬学に関連する幅広いテーマを取扱います．詳細は下記の投稿カテゴリーを参照してください．

有機化学／医薬化学／ケミカルバイオロジー／インシリコ科学／分析化学／物理化学／無機化学／物理薬剤学／製剤工学／生薬学／天然物化学／疫学／生物統計学／毒性学／衛生学／裁判・法科学／環境科学／レギュラトリーサイエンス／生化学／分子細胞生物学／免疫学・微生物学／薬理学／生物薬剤学／臨床薬学／臨床薬物治療学／薬学教育／その他

YAKUGAKU ZASSHIは，薬学の発展に貢献することを目指して活動する日本薬学会からの支援を受けて刊行されています．本誌は，独創的な知見をふくみ，革新的かつ重要度の高い研究成果を採択して掲載するため，迅速かつ質の高いピアレビューを行います．

投稿論文は，その内容が他誌に未投稿及び未掲載であるものに限ります．すべての著者は原稿の内容を理解していること，投稿について同意していることが必要です．論文は，出版と同時にオンライン公開されます．

投稿方法

すべての投稿は，本誌の電子投稿システム（Editorial Manager®）〈https://www.editorialmanager.com/yakushi/〉で行ってください．

初回原稿及び改訂原稿は，ChemDrawを除く，Word，Excel，PowerPoint，又はPDF等の一般的な形式のファイルでアップロードできますが，最終原稿の本文テキストはWordファイルで提出してください．また図及び表は，本文テキスト中に組み込まず，別ファイルで提出してください．これらのファイルは，システムが査読用に作成する一つのPDFファイルに自動変換されます．

投稿作業に問題が発生した場合は，編集事務局ronb（at）pharm.or.jpへ連絡してください．

論文種別

本誌は，一般総説と依頼総説，一般論文，ノート，ケースレポートを掲載しています．

一般総説は，著者の専門分野における研究成果や知見をまとめたものです．総説の投稿にあたっては，当該テーマに関する著者自身の最近の研究成果が論文等の出版物として含まれる必要があります．

依頼総説は，関心が高く重要な最近の研究成果や知見を含む重要なテーマについての概説です．学術誌編集委員会が執筆を依頼します．

一般論文は，著者によって行われた独創的な研究であり，幅広い読者にとって重要で関心度の高い新規のデータ，分析・解析や情報を含まなければなりません．

Presented by Medical*Online

ノートは，断片的又は部分的な研究成果であっても，価値のある新しい知見や重要なデータを含むものです．

ケースレポートは，調査研究，症例研究等で得られた新しい知見や有意義なデータを含み，原則刷り上がり4頁以内のものです．なお，投稿に際しては，“症例報告ガイドライン”を参照してください．

臨床薬学・臨床薬物治療学，薬学教育・薬剤師教育及び病院・薬局薬剤師業務に直接関連する領域の原著論文（一般論文，ノート及びケースレポート）は，英文による投稿も受け付けます．

原稿様式

カバーレター

著者は，投稿時にカバーレターを作成し，研究の簡単な概要，その重要性，及び出版の正当性を記載する必要があります．著者自らが推薦査読者を提案する場合は，カバーレターで推薦査読者との現在や過去の関係があれば明記してください．ケースレポートを提出する場合，著者はカバーレターに本文テキスト（タイトルページ，サマリー，キーワード，REFERENCESを除く）の文字数（スペースを含む）とREFERENCES件数，図及び表の数を記載してください．

フォントとフォーマット

原則として12ポイントのMS明朝（和文）あるいはTimes New Roman（英文）のフォントを用い，化合物番号・数字はすべてアラビア数字を使用してください．Wordファイルでの提出を推奨します．すべてのファイルには，A4（幅210 mm×高さ297 mm）用紙でのページ設定をしてください．必要があれば，図表は横長に作成してもかまいません（縦・横併用可）．

タイトルページ（第1頁）

本文テキストの最初のページはタイトルページとし，誌名（YAKUGAKU ZASSHI）と論文種別を記載してください．この後に，論文のタイトル，すべての著者の氏名，所属及び住所を記載します．住所と電話番号，FAX番号，及び責任著者の氏名とE-mailアドレスは脚注に記載してください．アスタリスク(*)は，責任著者の氏名の右肩に記してください．著者の現在の所属が研究時の所属と異なる場合は，氏名の右肩にダガー(†)を付し，脚注に著者の現所属と住所を記載します．

著者と所属

全著者とその所属のフルネームを記載する必要があります．著者に複数の所属がある場合，以下に示すように，著者名の右肩にイタリック体の上付き文字a，b，c…を付して示してください．和文と英文併記です．

（例）　薬学花子,[a,b] John Smith,[c] 創薬太郎[b]

Hanako Yakugaku,[a,b] John Smith,[c] and Taro Soyaku[b]

次に，所属と住所を以下のように記載してください．

（例）

[a]北海道大学大学院薬学研究科分子生物学科（〒060–0812 札幌市北区北2条西6丁目12番地）

[b]広島大学病院薬剤部（〒734–8551 広島市南区霞1–2–3）

[c]産業技術総合研究所（AIST）（〒350–8566 茨城県つくば市梅園1–1–1）

[a]Department of Molecular Biology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University, Kita 12, Nishi 6, Kita-ku, Sapporo 060–0812, Japan:

[b]Department of Pharmaceutical Services, Hiroshima University Hospital, 1–2–3 Kasumi, Minami-ku, Hiroshima 734–8551, Japan: and

[c]Biomedical Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST), Central 6, 1–1–1 Higashi, Tsukuba, Ibaraki 350–8566, Japan.

抄録とキーワード（第2頁）

第2頁目に，抄録（英文で250語以内，ただし英文投稿の場合は更に和文で500字以内の抄録も必要）及び重要度の高い順に3～6つ（英文）のキーワードを記載します．最初の3つのキーワード（合計80字以内，スペース及びカンマを含む）は，組み合わせてキーワードコンビネーションを作成しますので，相互に無関係である必要がありますので，そのため同じ英単語の入ったフレーズを繰り返さないでください．例えば，キーワードに「protein」，「protein synthesis」，「synthesis」を一緒に使用しないでください．また略語（投稿規定で使用が認められた一般的な略語を除く）はキーワードとして使用しないでください．

本文テキスト（第3頁以降）

論文の本文テキストでは，最初に「緒言」もしくは「はじめに」，次に「方法」，「結果」，及び「考察」（英文投稿の場合は“Introduction”，“Materials and Methods”，“Results”及び“Discussion”）をこの順序で項目立てしてください．これら項

Presented by Medical*Online

目に続き，謝辞，利益相反，補足的資料（該当する場合），REFERENCES，及び図表の説明文（Table or Figure Legends）の順序で記載します（英文に関しては，英文基準の項を参照）．

図及び表

図及び表の内容とタイトル・説明文は英文で記載してください．本文テキスト中で図及び表を示す際に，表は“Table”，図は“Fig. XX”，文頭では“Figure XX”と英文で表記してください．

表は本文テキストの後に配置し，出現順にアラビア数字で番号を付け，表のタイトルは表の上に記載してください．Wordファイルの「テーブル」機能を使用することを推奨します（画像として貼り付けないでください）．表の脚注はテーブルのすぐ後に配置してください．

表の後に図を配置し，出現する順にアラビア数字で番号を付け，図のタイトルは図の下に記載してください．図の説明文（Figure Legends）は，図中に記載せず，本文テキストの「REFERENCES」の後に，記載してください（本文テキストの項を参照）．

図のカラーに関しては画像の整合性の項を，費用に関しては論文公開の項（カラー印刷（図）／別刷料）を参照してください．

補足的資料（Supplementary Materials；電子付録）

著者は，論文の全体的な有用性を高め，論文内容のより深い理解に重要である場合，補足的資料を添付できます．補足的資料は，別ファイル（PDFファイルを推奨）として提出してください．補足的資料がある場合，「Supplementary materials」と見出しを付けて，「利益相反」と「REFERENCES」の項目の間に，「この論文のオンラインにSupplementary materials（電子付録）を含んでいる．」と記載してください．オンライン上のみの公開です（冊子には含まれません）．

論文審査のための補足的資料（Additional Information for Review）

他の場所で提出された関連文献を含む論文審査に必要な他のデータがある場合は，「Additional Information for Review」として別ファイル（PDFファイルを推奨）にて提出してください．これらの資料は出版物には掲載されません．

REFERENCES（引用文献）

本誌のREFERENCESは，雑誌掲載論文，書籍・インターネット，技術報告，特許，講演などで公開されている文献又は資料に限ります．これ以外の資料は，本文テキスト中に記載してください．

本誌はバンクーバー方式を使用します．そのため，本文テキストでの引用順に従って（図及び表の参照も含む），文献に連続した番号を付けてください．本文テキスト中に右肩上付き文字で，句読点の後，又は関連する単語の後に，右片括弧付きのアラビア数字で示します．

（例）“LAMPタンパク質は，リソソームとファゴソームの融合に関与していると報告されています．[1)]”

本文テキスト中で著者名を参照する場合，“Jones and Smith”など，最大2名までの姓を記載してください．3名以上の著者を参照する場合は，最初の著者の姓のみを次の様に記載します．（例）“Jonesらは，…”

REFERENCESリストは，引用された論文を番号順に並べます．雑誌の略名は，PubMedに記載されているものに準拠します．すべての著者について，firstとmiddle nameのイニシャルを以下に例示するように記載します．REFERENCESはすべて「英文」で記述しますので，和名のみの場合はローマ字表記にしてください．

（例）REFERENCES

1) Uchino T., Miyazaki Y., Fujii A., Kagawa Y., *Yakugaku Zasshi*, **137**, 979–986 (2017).
2) Roques B. P., Florentin D., Callanquin M., *J. Heterocycl. Chem.*, **12**, 195–196 (1975).
3) Cruickshank R., Duguid I. P., Marmion B. P., Swain R. H. A., “Medical Microbiology,” 12th ed., Vol. III, Churchill Livingstone, New York, 1975.
4) Kaishima T., Fujiki J., (PRMU2003-83), Technical Report of IEICE, 49–54 (2003).
5) Szejtli J., “Cyclodextrin Technology,” ed. by Davis J. E. D., Kluwer Academic, Dordrecht, 1988.
6) Tokuda H., Ichiishi E., Onozuka M., Yamaguchi S., “Biology of Nitric Oxide, Part 6,” Vol. I, Chap. 2, ed. by Moncada S., Tada N., Maeda H., Portland Press, London, 1998, pp. 185–186.
7) Brunner A., Greune H., U. S. Patent 1910462 (1993) [Chem. Abstr., 27, 4092–4096 (1993)].
8) Based on a lecture presented at the 30th Symposium on Heterocyclic Chemistry, Tokyo University of Pharmacy & Life Science, Hachioji, on 25 November, 1999.
9) International Organization for Standardization. “How we develop standards.”: 〈https://www.iso.org/developingstandards.html〉, cited 5 September, 2018.

Presented by Medical*Online

サイエンスポリシー

天然物及び天然物由来の未精製抽出物の研究（Natural Products and/or Crude Extract Materials: NP/CEM）

天然物（natural products: NP）又は天然物由来の未精製抽出物（crude extract materials: CEM）を用いた研究では，NPやCEMの起源，CEMの抽出方法，及び薬理作用を示す標準物質に関する説明と情報を個別に記載する必要があります．詳細は，https://yakushi.pharm.or.jp/の「NP/CEMガイドライン」に記載されています．

すべての論文は，本誌のガイドラインと規定に準拠する必要があります．これは，漢方薬や伝統的な漢方薬の処方を使用してNPから作製されたCEMに関する論文を投稿する場合にも該当します．

薬物療法等における「症例報告」ガイドライン

「症例報告」は，臨床症例で新しい薬学的知見を導く可能性を持つ報告に限定します．また，過去の類似症例やその症例に対する推論・結論を裏付ける基礎及び臨床研究の知見をまとめて「考察」の中で論じてください．経過・結果の記述は，以下の例を参考に作成してください．

例1：複数症例の病床経過（表及び図でまとめる）

例2：複数症例を症例毎に症状表記（症例1，症例2…）

例3：1症例の症状表記と考察をまとめて記述（この場合，経過・結果・考察となる）

倫理委員会への対応：原則として「症例報告」は，臨床研究倫理指針や疫学研究倫理指針に該当しませんが，日常診療に必要のない項目（ゲノム解析やバイオマーカーの測定等）を含む場合は，該当する倫理委員会の指針（ヒトゲノムや臨床研究）に従い，承認を得る必要があります．また，報告の方法は特定不可能な匿名化された表現に限ります．

X線結晶構造解析

X線結晶構造解析による構造決定が論文の中心部分を構成する場合，審査のための資料（Additional Information for Review）としてCambridge Crystallographic Data Center（CCDC）に登録及び登録するために必要なデータを添付してください．

結晶構造解析が補助的な役割のみを果たす場合，crystal data（including unit cell parameters, space group, Z density）とR-factorを記してください．必須ではありませんが，本誌はデータをCCDCに登録することを推奨しています．論文出版のときに印刷されるのは次の内容が含まれます：atomic coordinatesは構造が重要な場合，bond lengths and angles, thermal parameters, torsion angles等の論文の議論に重要な場合．

核酸塩基配列

新規の核酸塩基配列は，DDBJ，GenBank又はEMBL Nucleotide Sequence Databaseに登録する必要があります．論文が採用される前に，accession numberを取得してください．データベース内の情報へのアクセスは，論文公開時に利用可能でなければなりません．新規の核酸塩基配列のaccession numberは，「方法」に記載する必要があります．

スペクトル及び元素分析データ

スペクトル及び元素分析データは次の形式で記載してください．

^{1}H-NMR（$CDCl_3$）δ: 1.25（3H, d, J = 7.0 Hz），3.55（1H, q, J = 7.0 Hz），6.70（1H, m）; ^{13}C-NMR（$CDCl_3$）δ: 20.9（q），71.5（d），169.9（s）; IR（KBr）cm^{-1}: 1720, 1050, 910; UV λ_{max}（EtOH）nm（ε）: 241（10860），288（9380）; UV λ_{max}（H_2O）nm（log ε）: 280（3.25）; FAB-MS m/z: 332.1258（Calcd for $C_{18}H_{20}O_6$: 332.1259）; MS m/z: 332（M^+），180, 168. $[\alpha]_D^{23}$ −74.5（c = 1.0, MeOH）; *Anal.* Calcd for $C_{19}H_{21}NO_3$: C, 73.29; H, 6.80; N, 4.50. Found: C, 73.30; H, 6.88; N, 4.65

命名法

化合物の命名法は，IUPAC制定の命名規則に従ってください．Chemical Abstractsの索引並びにRing Indexの命名法に準拠することもできます．命名法のスタイルは，論文内で一貫している必要があります．

略語

抄録，本文テキスト中の略語はそれぞれの初出時にスペルアウトし，直後に括弧（　）内で略語を示し，以下略語のみを用いてください．日本語表記がある場合は，「日本語（スペルアウト：略語）」とします．抄録とタイトルへの略語の使用は最小限にしてください．なお，次の一般的な略語は定義（スペルアウト）する必要がありません．

ADP	adenosine 5′-diphosphate
AIDS	acquired immunodeficiency syndrome
AMP	adenosine 5′-monophosphate or adenylic acid
ANOVA	analysis of variance
ATP	adenosine 5′-triphosphate
cAMP	adenosine 3′,5′-cyclic monophosphate
cDNA	complementary DNA

Presented by Medical*Online

CoA	coenzyme A
CYP	cytochrome P450
DNA	deoxyribonucleic acid
ED50	50% effective dose
ESR	electron spin resonance
FAB-MS	fast atom bombardment mass spectrometry
FAD	flavin adenine dinucleotide
GC-MS	gas chromatography-mass spectrometry
GLC	gas-liquid chromatography
GMP	guanosine 5′-monophosphate
HPLC	high-performance liquid chromatography, high-pressure liquid chromatography
IC_{50}	inhibitory concentration, 50%
IR	infrared
LC	liquid chromatography
LC/MS	liquid chromatography/mass spectrometry
LD_{50}	50% lethal dose
mRNA	messenger RNA
MS	mass spectrum
NMR	nuclear magnetic resonance
OTC	over the counter
PCR	polymerase chain reaction
QOL	quality of life
RNA	ribonucleic acid
RT-PCR	reverse transcription polymerase chain reaction
TLC	thin-layer chromatography
tRNA	transfer RNA
UV	ultraviolet
WHO	World Health Organization

単位

次の単位を使用する必要があります.

length	m, cm, mm, μm, nm, Å
mass	kg, g, mg, μg, ng, pg, mol, mmol, μmol
volume	L, mL, μL
time	s, min, h, d
temperature	°C, K
radiation	Bq, dpm, Gy, Sv
concentration	M, mM, mol/L, mmol/L, mg/mL, μg/mL, %, % (v/v), % (w/v), ppm, ppb

編集方針

YAKUGAKU ZASSHIへ投稿することは，すべての著者がこれらの編集方針内容を理解して承認したことになるため，著者は以下の編集方針並びに投稿規定を注意深く読む必要があります．本誌への投稿は，すべての著者が投稿内容を承認し，その投稿に同意し研究を公開する権利があり，中傷又は名誉棄損がないことを意味します．また，すべての著者は，投稿がオリジナルであり，他の場所で他の言語を含み公開されておらず，他誌で審査中ではないことも同意したことになります．著者は，投稿論文に関連する内容が投稿中か，印刷中の場合は，編集事務局へその旨を通知する必要があります.

採否基準

投稿論文が本誌のスコープに合致し，本学会の行動規範，ヒト又は動物を用いた研究倫理指針の遵守，データポリシー，様々な技術的要件，英文基準，著作権規定等，多様な基本的な採用基準を満たしており，さらに，次の条件も満たしている必要があります.

・科学的に厳格であること.
・新規性，革新的，独創的であること.
・当該分野の発展及び当該分野の研究者にとって重要か，潜在的に重要であること.
・幅広い読者に強い関心をもたらすように，適切な文脈で構築されていること.

Presented by Medical*Online

オーサーシップ

YAKUGAKU ZASSHIの責任著者は，著者として次の基準を満たす必要があります．
すべての著者は以下に該当しなければなりません．

・研究のあらゆる側面について責任を負うことに同意する．
・研究の構想や設計，又はデータの取得，分析，評価に大きな貢献をした．
・重要な知的内容に関して原稿を作成したか，改訂に重要な役割を演じた．
・最終原稿の発表を承認している．

本誌に投稿することによって，著者は著者リストとその順序に同意したことを保証します．査読後の著者リストへの変更（著者の順序，著者の追加又は削除など）は，原則認めません．変更の要請があった場合，変更内容は正当な理由があり，記載されたすべての著者によってそれが承認されていなければなりません．

ヒト／動物を用いた研究（倫理指針）

ヒト並びにヒト試料・情報を用いた研究の投稿に際して，著者は，1964年のヘルシンキ宣言及びその後の改訂（https://www.wma.net/）に記載されている医学研究の倫理原則に従って研究が行われたことを宣言する必要があります．さらに，本文テキスト中には，研究開始前に倫理委員会から承認が得られたことを証明する声明を記載してください．

動物実験を含む投稿の場合，著者は本文テキスト内で，著者の所属機関の実験動物ガイドラインに従って研究が行われたことを明示する必要があります．さらに，該当する政府のガイドラインに従う必要があり，これらは声明として明記されるべきです．それらは，文部科学省等で定められ，公表されている指針に合致しければなりません．
いずれの声明も「方法」に明記してください．

類似性（Similarity）

著者は，投稿原稿が著者の独創的な研究であることを保証しなければなりません．本誌はiThenticate®ソフトウェアを使用して，投稿された論文の類似性を検証します．本誌への投稿は，著者がこのプロセスに同意することを意味します．本誌は，許容できない程度の類似する内容が含まれていることが判明した場合，それ以上の審査なしに論文を却下する権利を有します．再提出された投稿は，類似性の高い部分が削除改訂された場合にのみ受け付けます．

プレプリント（Preprints）の取り扱い

本誌は，著者がコミュニティ・ノンプロフィット・プレプリント・サーバーへ投稿した論文を受け付けます．プレプリント・サーバーへ投稿した論文を本誌へ投稿する著者は，プレプリントであることを明らかにし，カバーレターにアクセッション番号またはデジタルオブジェクト識別子（DOI）を記載する必要があります．原稿が本誌に受理された場合，著者はプレプリント情報を更新し，ジャーナルのリファレンス（DOIを含む）とYAKUGAKU ZASSHIのウェブサイトに掲載された論文へのリンクを張る必要があります．

画像の整合性

本誌は，画像の表示において高解像度に準拠しています．画像のデジタル操作又は処理は許可されますが，すべての図は元になるデータを正確に反映する必要があります．編集委員は，必要に応じて，出版前又は出版後に著者にオリジナルのデータと画像を要求することがあります．オンラインカラー公開は，J-STAGE上のPDFファイルデータのみ，カラーデータに差替えます．冊子体はモノクロ印刷です．オンラインカラー公開を希望する図及び表がある場合は，該当する図表の各説明文末尾に，以下の文言を記載しなければなりません．

「(Color figure can be accessed in the online version.)」

費用に関しては論文公開の項（カラー印刷(図)／別刷料）を参照してください．

著作物の使用

著者が著作権所有者から許可を得て，投稿時にこれを証明する関連文書を提供する場合にのみ，図及び表又はその他の以前に公開された資料の使用が可能です．

データと材料の入手可能性

本誌は，研究とその成果を改善する取り組みを支援しています．本誌に投稿することにより，著者は投稿論文の資料，データ及びプロトコルを合理的な要求に応じて提出することに同意することになります．本誌は，データ及び関連資料のための補足的資料の使用，又は関連する承認された公開リポジトリの使用をサポートしています．これらの資料の形式と様式の詳細については，補足的資料の項をご覧ください．また，この投稿規定のサイエンスポリシー項の関連部分も参照してください．

利益相反（Conflict of Interest）

投稿された論文の研究の遂行や出版に影響を及ぼす可能性のある金銭的又は個人的な関係がある場合，利益相反が存在します．本誌には，担当編集委員，査読者，編集委員会のメンバーと編集事務局及び著者間の利益相反に関する遵守

Presented by Medical*Online

があります．著者は，個人的，金銭的及び非金銭的な利益相反を対象とするthe Council for Science Editors' policiesの方針を参照し，遵守する必要があります．さらに，論文の出版から利益を得る可能性のある企業又は機関と著者との金銭的関係を開示しなければなりません．著者は，金銭的情報開示の指針として以下を考慮する必要があります．

1. 営利（商業）団体・企業からの研究資金
2. 営利（商業）団体・企業からのコンサルティング料／謝金
3. 特許権使用料／ライセンス料
4. 雇用／顧問契約など
5. その他の報酬（旅費，贈答品など）

投稿論文の本文テキストの利益相反の項目（謝辞の後）に開示してください．著者に利益相反がない場合，次のように記載しなければなりません．

「開示すべき利益相反はない．」

利益相反がある著者がいる場合は，次のように明記する必要があります．例えば，A（著者名）はO（会社，研究所，又は個人名）から研究助成金を受領した．BはPから非金銭的な支援を受けた．CはQのコンサルタントとして活動している．DはRの販促資料を作成したことで謝礼を受け取った．EはSにライセンスされた特許12345を保有している．FはTの社長．Gは会議への参加に対してUから旅費を受領した．HとIはXの社員である．Jには開示すべき利益相反はない．

守秘義務

投稿中の論文，又は著者に返送された論文はすべて機密扱いとなります．著者は，本誌，編集者及び編集事務局からの投稿に関するすべての連絡を非開示にすることに同意することになります．本誌はシングルブラインド査読を実施します．査読者の身元は，査読者から正式かつ明示的に要請されない限り，開示されません．査読者は，投稿された原稿の機密性を本誌の論文を査読する契約の一部として維持することに同意します．

編集及び査読プロセス（審査）

本誌は8つの部門で構成されており，各部門には1名の部門長がおり，その下に編集委員がいます．本誌は，各部門の専門家である80人以上の編集委員によって構成されています．編集委員は，査読プロセス，すなわち査読者を選択して連絡を取り，論文の修正・改訂及び採否の決定を行う責任があります．部門長は，各投稿論文に担当編集委員1名を割り当て，必要に応じて審査状況を監督します．編集長は，本誌の全体的な戦略や方針を考え，必要に応じて最終的な判断を下します．

担当編集委員は，編集事務局，部門長，編集委員によるスクリーニングの終了後に，ブラインドによる査読を実施します．投稿規定に示されているように，本誌の基本的な要件又は採用基準に明らかに準拠していない論文は，査読なしで不採択となり著者に返却されます．

依頼総説（部門長又は編集委員が査読を行う）を除き，スクリーニングを通過した論文は2人以上の査読者に送られ，査読者は内容に対する著者へのフィードバックと採択の可能性に関する意見を述べます．

査読者は，専門知識，信望及び査読者としての過去の経験に基づいて選択されます．本誌は査読者から最良の助言を確実に得られるように，査読者には本誌の採用基準を含む査読者向けガイドが提供されています．

担当編集委員は，査読者によるレポートを初回判定（採択，マイナー改訂，メジャー改訂，不採択）の基礎として使用します．著者は，マイナー改訂，メジャー改訂の場合，改訂稿を再提出するように勧められています．論文によっては，再度査読審査が必要とみなされる場合があります．改訂後，本誌の要件を満たしていると見なされる論文は，採択となり出版されます．

改訂原稿は，担当編集委員による改訂要請の通知日から2か月以内に再提出する必要があります．2か月以内に再提出されない論文は，審査が打ち切られ不採択となり，次回は新規投稿として提出する必要があります（追加の投稿手数料が発生します）．著者は，期限内に再提出できない場合，かならず編集事務局に連絡してください．

査読者の推薦

著者は，Editorial Manager®（電子投稿システム）を介して，推薦査読者を提案することができます．推薦査読者は，公正で的確な助言を提供できる専門家でなければなりません．著者は，カバーレターで推薦査読者との継続中又は以前の関係を言明する必要があります．著者は，除外を希望する査読者も要請することもできます．本誌はこれらの要請を検討する場合がありますが，それらを尊重する義務はありません．担当編集委員は査読者の選択に関して完全な裁量権を有しています．

反論

本誌は，査読者又は担当編集委員による誤解，間違い又は過誤の明確な証拠を提供する反論が提出されれば検討します．反論内容は，担当編集委員により検討され，最終決定となります．

Presented by Medical*Online

正誤表と論文取り下げ

本誌は科学の正確な記録の維持・保存をサポートしているため，出版された論文に重大な誤りがあれば修正します．著者が出版された論文に重大な誤り又は不正確さを発見した場合，編集長へ速やかに通知してください．編集長は，第三者のアドバイスも検討し，正誤表又は論文取り下げが適切かどうかを判断します．

正誤表は，論文の科学的完全性又は雑誌や著者の信望に重大な影響を与える誤りを記載します．論文取り下げは，結果又は結論が無効又は誤解を招くと判断された場合，又は研究倫理や出版倫理の違反の十分な証拠がある場合に適用されます．著者自身に責任がある軽微な誤植は修正できません．

著者又は一部の共著者が修正内容の公表に同意しない場合，本誌は訂正に同意しない共著者を掲載した上で，正誤表又は論文取り下げを公表する権利を有します．

これらの本誌の決定は最終的なものです．

英文基準

明確で簡潔な英文で書かれた論文のみが査読プロセスに進むことができます．和文で書かれた論文であっても論文表題，抄録，図及び表のタイトルと説明文及びREFERENCESは英文記載になりますので，英文投稿時と同様の英文の質が求められます．

英語を母語としない著者は，十分な科学的知識を持っている英語を母語とする人が原稿を校閲する必要があります．採択された論文の英文の水準が編集委員会にて不十分であると判断された場合，2つの選択肢があります．1）著者自身が信頼できるサービス業者を利用した上で英文校閲証明書を提供する．2）有料の本学会のサービス業者を利用する．なお，編集事務局では，投稿論文の採用決定時に英文校閲を再依頼することがあります．

論文公開

本誌は，インターネット上で誰でも自由に閲覧でき，標準の著作権条項の下で使用及び再利用することができます．論文内容の再利用の許可を得るには，編集事務局に連絡する必要があります（詳細については，著作権の項を参照してください）．本誌は出版費用を回収し，開発資金を調達するために，投稿手数料と掲載料を請求します．別刷も注文できます．費用と手順の詳細は以下のとおりです．

費用

投稿手数料

新規投稿時に限り，1件あたり3000円（クレジットカード支払）が適用されます．

本学会の会員は，論文が採択された場合に掲載料から3000円が差し引かれます．

掲載料

刷り上り1頁あたり5000円となります．

カラー印刷（図）

カラー版を印刷版に含めることを希望する著者には，印刷されたカラーページ毎に50000円が請求されます．オンライン版でのみカラー公開（印刷版では白黒）を希望する著者には，1図あたり4000円が発生します．

別刷料

別刷は50部単位で購入できます．カラー印刷を選択した場合，カラー印刷には刷り上がり1頁あたり1部80円の追加料金がかかります．表紙を希望する場合，1部30円の料金がかかります．なお，送料は以下の価格に含まれています．

刷上頁	1～2頁	3～4頁	5～6頁	7～8頁	9～10頁	11頁以上
50部	8000円	9000円	10000円	11000円	12000円	13000円
100部	14400円	16200円	18000円	19800円	21600円	23400円
150部	19200円	21600円	24000円	26400円	28800円	31200円
200部	22400円	25200円	28000円	30800円	33600円	36400円
250部以上	単価110円	単価120円	単価130円	単価150円	単価160円	単価180円

早期公開

著者の要求に応じて，採択された論文は，本誌に掲載される前に，早期公開論文として本誌のJ-STAGEサイトでオンライン公開できます．早期公開には2500円の手数料がかかります．早期公開原稿は，組版なしの最終審査時の原稿（校正前のもの）となります（ただし赤字やハイライト等は読みやすさを考えて編集事務局で修正）．早期公開された論

Presented by Medical*Online

文は，本誌が出版された後もJ-STAGEサイトにそのまま残ります．削除はできません．編集事務局は採択後に早期公開の希望の有無を著者に確認します．

消費税

ページ，別刷及びカラー図の料金には消費税は含まれておらず，適宜追加されます．

料金の変更

料金は予告なしに変更されることがあります．

著作権と転載

著者は，YAKUGAKU ZASSHIに掲載されたすべての論文の著作権を日本薬学会に譲渡する必要があります．著者は，論文が公開される前に，本学会に所定の著作権譲渡承諾書を提出しなければなりません．

本誌の論文を転載する際は，著者は，論文が適切に参照及び帰属されている限り，本学会の許可なしに図及び表を転載利用できます．

論文著者ではない方がそれらを転載したい場合は，転載許可申請が必要です．編集事務局（下記問い合わせ先）まで申請してください．

審査終了（採択）後のプロセス

採択通知を受け取った著者には，編集事務局より出版へ進むための案内があります．採択通知後平均して約40日後に，著者へ著者校正ゲラが送られます．出版の過程中に生じた誤植以外の追加や改訂は許可されません．著者から派生した誤植を修正する場合，追加料金が発生することがあります．

出版された論文は，本誌のJ-STAGEサイト（https://www.jstage.jst.go.jp/browse/yakushi/）で，オンラインにて閲覧（無料）できます．

問い合わせ先

編集事務局

E-mail: ronb（at）pharm.or.jp
〒150–0002 東京都渋谷区渋谷2–12–15
FAX: 03–3498–1835
Print ISSN: 0031-6903
Online ISSN: 1347-5231

藥學雜誌 **YAKUGAKU ZASSHI**

Journal of the Pharmaceutical Society of Japan
Print ISSN: 0031-6903　Online ISSN: 1347-5231

Vol. 145 No. 1
2025年1月1日発行（毎月1回1日発行）

■購読料（税込）　一般会員 6720円　学生会員 1500円
■一部定価　2530円（本体2300円+税 10%）

編 集 発 行：公益社団法人日本薬学会
〒150–0002 東京都渋谷区渋谷2–12–15
The Pharmaceutical Society of Japan
2–12–15, Shibuya, Shibuya-ku, Tokyo
150–0002, Japan
電話：03–3406–3325　FAX: 03–3498–1835
https://www.pharm.or.jp/
YAKUGAKU ZASSHI ホームページ：https://yakushi.pharm.or.jp/

印刷・製本：株式会社国際文献社

本誌の複写は，一般社団法人学術著作権協会（〒107–0052 東京都港区赤坂9–6–41 乃木坂ビル 電話：03–3475–5618　FAX：03–3475–5619, E-mail: info@jaacc.jp）の許可が必要です．公益社団法人日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方を除きます．

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

〈All users except those in the USA〉
Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
9–6–41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107–0052, Japan
Phone: +81–3–3475–5618
FAX: +81–3–3475–5619　E-mail: info@jaacc.jp

〈Users in USA〉
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
Phone: +1–978–750–8400　FAX: +1–978–646–8600

© 2025 The Pharmaceutical Society of Japan

Presented by Medical*Online